

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DA464／NPO／NGOの社会学 (Sociology of NPOs/NGOs)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	持続可能な地域経済と社会イノベーション		
担当者名 (Instructor)	服部 篤子(HATTORI ATSUKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOC3410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

この授業では、市民社会及び関連する公共のサービスを担う活動の概念を学び、理論と実際について理解を深めること、その背景にある社会の課題と将来像を考察し自らのキャリアを考えることを目的とします。

In this class, students will learn about concepts of organizations such as NPOs to deepen their understanding about theory and reality. They will also analyze conditions and future trends of society in this context.

#### 授業の内容(Course Contents)

家族、地域、社会に生じる多様な課題の解決にむけて、行政のみならず非営利組織(NPO)やNGOの役割が高まってきました。NPO等は、小規模な団体が多いものの、その柔軟性もち、市民の主体的な地域づくりを促進する点、市場や働き方に新たな価値観を提案する点が特徴としてあげられます。しかしながら、多くが発信力や持続性に課題を抱えています。

そこで、本講は、行政、NPO、企業との関係に着目し、「行政とNPOが協働するためには何が必要か」、「社会起業家にとって利益とは何か」、「NPONGOの成長や成果は何か」、「持続可能な社会に市民社会はどう寄与するのか」、「市場の成長と地域の持続可能性は両立するのか」といった問いにむきあいます。

具体的なテーマについて課題等を課すほか、NPONGOの代表などゲストとの対話を予定しています。

In addition to administration, NPOs and NGOs are playing greater roles at solving problems in family, state, and society.

Although many NPOs are small, they are flexible enough to facilitate citizens' regional revitalization, create new values in market and workstyle. However, many are plagued by communication and sustainability issues.

In this lecture, students will focus on connections among administrations, NPOs, and corporations. Students will also study these questions. What are required for administration and NPOs to work together? What are profits for NPO sector? What are growth and results for NPO sector? How will NPO compete with existing business markets?

In addition to participating in subject discussions in classroom and completing assignments, students will also talk to guests working in welfare sector and organizations active overseas.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. 序論:「NPO／NGO」研究の範囲と潮流
2. 非営利セクターの概念(1)改めて考えるNPOと市民社会
3. 非営利セクターの概念(2)NPOの台頭と変わりゆく行政
4. 非営利セクターの概念(3)NPOの法制度
5. 事例研究(1)NPOとソーシャルビジネス(ゲストスピーカー)
6. 協働を考える(1)社会起業家とソーシャル・イノベーション
7. 協働を考える(2)地域経済とアート
8. 協働を考える(3)企業が解決する社会課題
9. 事例研究(2)NGOと国際事情
10. 新しい公共経営(1)持続可能性とコミュニティ
11. 新しい公共経営(2)地域の復興と社会・環境投資
12. 新しい公共経営(3)休眠預金等活用
13. 社会イノベーションの可能性:NPO/NGOの社会インパクトを考える
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前に提示する関連資料、該当書籍を読んだうえで出席すること。積極的にNPO/NGOのサイトにアクセスする、イベントに参加する、ボランティアに参加することを推奨する。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

授業内中間レポート(30%)／リアクションペーパー、授業への貢献(30%)／最終レポート(Final Report)(40%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 樽見・服部編著、2020、『新・公共経営論—事例から学ぶ市民社会のカタチ』、ミネルヴァ書房

#### 参考文献(Readings)

1. 松永佳甫、2015、『公共経営学入門』、大阪大学出版会
2. 服部・武藤・洪澤、2012、『ソーシャルイノベーション』、日本経済評論社
3. 大守隆、2018、『ソーシャルキャピタルと経済』、ミネルヴァ書房
4. 服部篤子、2012、『未来を創る企業内イノベーターたち』、近代セールス社

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

全授業回のうち、ゲストスピーカーが登場する2回のみオンラインで実施する。実施回については Blackboard または立教時間で指示する。

内閣府 NPO サイト

日本経済団体連合会1%クラブサイト

#### 注意事項(Notice)